

令和2年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 106

千葉県立長狭高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次のいずれかに該当する生徒

- ア 学業成績に優れており、明確な進路目標を持って意欲的に学習に取り組む意志のある生徒
- イ 部活動や生徒会活動等に熱心に取り組み、入学後も引き続き活動を続け、成果が期待できる生徒

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者2名の個人面接 検査時間：8分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

アの数値に、イ～オについて加点（上限80点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。
イ 出欠の記録	3か年皆勤について加点する。
ウ 特別活動の記録	生徒会活動の役職について加点する。
エ 部活動の記録	部活動の役職及び顕著な実績について加点する。
オ 特記事項	顕彰及び顕著な検定資格について加点する。

(3) 面接〔80点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（非常に優れている）・b（優れている）・c（標準的である）・d（問題がある）の4段階で評価する。

aを10点、bを7点、cを4点、dを1点とし、2名の評価者の評価（各40点満点）を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 中学校生活の活動	中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。
ウ 高校生活への意欲	入学後の目的意識があり、具体的に回答することができる。
エ 目標達成のための素養と意欲	目標に向かって努力し、成果を発揮する素養と意欲がある。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

〈総得点の満点の内訳〉

学力検査の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定（算式1）	加点	面接	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	80点	80点	$(795 + \alpha - m)$ 点

（算式1） α ：県が定める評定合計の標準値95
 m ：中学校評定合計平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいししない。